

ID	受理日	番号	報告者名 清浄法研 究所	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有成分	文獻	症例 位置	感染症(PT)	出典	概要
638	2007/10/23	70638	化学及血 清浄法研 究所	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免 疫グロブリン	ヒト血液	米国	有効成分	有	無	デング熱	CDC/MMWR 2007; 56(31): 785-789	2005年7月にデング出血熱(DHF)症例1例がTexas州Brownsvilleの住民において報告された。2005年8月に隣接するメキシコTamaulipas州の保健当局はデング熱症例1251例が発生しているデング熱のアウトブレイクを報告し、内223例(17.8%)がDHFであった。臨床的および疫学的調査の結果、同地域でのデング熱アウトブレイクに伴うDHF症例の割合は、2000-2004年はデング熱症例541例中20例(3.7%)であり、増加していることが明らかとなった。
639	2007/10/23	70639	化学及血 清浄法研 究所	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	デオキシリ ボヌクレアー ゼ1	ウシ脾臓	ニュージー ランド	製造工程	無	無			
640	2007/10/23	70640	化学及血 清浄法研 究所	乾燥組織培養不活化A型肝炎ワクチン	リボヌクレ アーゼA	ウシ脾臓	ニュージー ランド、オー ストラリア	製造工程	無	無			
641	2007/10/23	70641	武田薬品 工業	注射用乾燥セルモロイキン(遺伝子組換え)	人血清アル ブミン	人血液	日本	添加物	有	無	ウエストナイル ウイルス	CDC/MMWR 2007; 56(4): 76-79	ID-NATを用いた強化スクリーニング開始以降に、初めて西ナイルウイルス輸血感染症例が報告された。2006年に免疫不全患者2例が、感染ドナー1例(献血時のMP-NATの結果は陰性)由来の血液製品を授与された後、西ナイル神経変性疾患を発症した。今回の例はID-NATは実施されておらず、ID-NATトリガーを促進することが重要である。
											異型クロイツ フェルト・ヤコ ブ病	FDA/CBER 2007 年5月30日	近年 米国で承認されている第9因子、第9因子を含む血漿由来の血液凝固因子および免疫グロブリンやアルブミンのような他の血漿由来製品のレシピエントにおけるvCJDリスクに関する懸念が挙がっている。これに対し、米FDAはリスク評価を行った。この評価に基づいてUS Public Health Serviceは、米国で承認された第8因子を授与されている患者のvCJDリスクは非常に低く、その他の血漿由来製品のvCJDリスクは同程度か更に低いとしている。本ウェブページに関連資料、ガイダンスなどが掲載されている。